

式 辞

鹿島をわたる潮風はあたたかく、木々の若葉が美しい今日の佳き日に、御来賓、保護者の皆様の御臨席の下、令和五年度愛媛県立北条高等学校入学式を挙行し、多くの新入生を迎えることができますことを、本当にうれしく有り難く思っております。

ただ今入学を許可された新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんの入学を、私たち教職員全員、心から歓迎しています。ようこそ北条高等学校へ。

そして、高校生になったお子様を、今日の日まで、愛情をこめて育て、日々支えてこられた保護者の皆様、関係の方々に、衷心よりお慶びを申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、この学校でどんな自分になりたいと思っておりますか。この学校で何を経験したいと思っておりますか。今日からすぐにやり始めたいこと、三年を掛けて成し遂げたいこと、皆さん一人一人にそれぞれの思いや期待があることと思っております。

私は、皆さんに、この学校で次のことを経験してほしいと思っております。自分で決めて、自分でやって、その結果を自分で引き受けること。このことを、北条高校でたくさん経験してほしいと思っております。

もしかしら、皆さんの中には、自分で決めようと思っても思いつかなかったり誰かに決めてもらうのを待ったりして、自分が決めることを避けてしまう人がいるかもしれません。あるいは、自分で決めたはずなのに、やる気が起こらなかつたり、すぐにやるのが苦手だったりする人がいるかもしれません。また、自分で決めて自分でやることのできる人の中にも、結果がよくないと、ごまかしてしまったり、つい他人のせいにしてしまったりする人もいるかもしれません。

もしそうだとすると、今はそれでもかまいません。しかし、北条高校で学びを重ねる時間の中で、自分で決めること、自分でやること、決めたことや、やったことの結果を自分で引き受けることを、少しずつ少しずつ、増やしていきましょう。それが、自立するということだと思います。たとえ失敗しても大丈夫です。自分で決めた意志に基づく失敗には、大事な意味があります。その経験は、後に必ずその人の力になります。ゆっくりでいいんです。結果をおそれすぎず、自分の中の意志の芽を、大事に育ててほしいと願っています。

そして、三年後の自分、将来の自分がやりたいこと、行きたい場所、叶えたい夢に、着実に近づいていってくれることを期待しています。

新入生の皆さんが、自立していくこと、すなわち、自分で決めて、自分でやって、その結果を自分で引き受けることを、私たち教職員は全力で応援し、支援することをお約束します。保護者の皆様には、お子様の成長と自立のために、信頼し合い、力を合わせて支え合うチームメイトとして、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

本校は、昭和二十二年の創立以来、校名や学科内容、教育制度を変遷しながら、七十五年の歴史を紡いでまいりました。これからも、生徒のために誠実に変化に立ち向かってまいり所存です。

最後になりますが、御臨席の保護者の皆様、PTAの皆様、そして同窓会の皆様、地域の皆様に対しまして、改めて本校の教育に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日、北条高校生としての新しいスタートラインに立った新入生の皆さんの前途を祝し、式辞といたします。

令和五年四月十日

愛媛県立北条高等学校 校長 渡邊 俊